

タイトル：【PTA 組織改編～子どもたちのための持続可能な PTA をめざして～】

学校名：神奈川県立希望ヶ丘高等学校全日制 PTA

テーマ：改編を通して学びながら、子どもたちのためにより良い PTA をめざして

1. 学校紹介

自由と自立自製の精神のもと、自ら考え行動し、学校生活を全力で楽しむ生徒たちの様子を生徒作成の動画で紹介します。

2. PTA 改編に至った背景（動機と課題）

私たちは、PTA 活動に対して長年「本当にこれで良いのだろうか」「何のためにやっているのだろうか」という疑問や悩みを抱えていました。特に、PTA 会費の使い方の見直しがなかなか進まないという課題がありました。昨年の中地区大会での他校の発表に感銘を受け、この状況を打開することを決意いたしました。子どもたちのための持続可能な PTA を確立するためには、活動の根本から見直す抜本的な改革が必要だと判断したのです。

3. 新しい組織体制への移行

改革のポイントは、①活動が形だけになっていないか？目的は？②会費は生徒や会員に行き渡っているか？③子どもたちのためにどんなことができそうか？です。目的や活動に合わせた3つの委員会に改編することとしました。

従来の組織		改編案	
委員会	活動	目的（活動）	委員会
会員委員会	バスツアー、芸術鑑賞など	保護者と生徒・学校をつなぐ（懇談会、講演会の開催など）	学年委員会
学級委員会	学級懇談会、ガーデニングなど	学校環境を整える（花壇の整備、校内外の清掃など）	環境委員会
広報委員会	広報紙発行	学校やPTAの活動を会員に知らせる（柔軟な取材や発信）	広報委員会

臨時書面総会では改編の承認をいただきましたが、このプロセスの中で、改編の意図や詳細について、よりきめ細かな情報提供が課題として残りました。

4. 持続可能な PTA のための新しい取り組み

改編後の活動を定着させるため、以下の4つの

柱で具体的な取り組みを導入しました。

- ・選出の改革:委員選出を立候補制のみとし、くじ引きを廃止しました。「やりたい人が無理なく関わる」仕組みを確立しています。
- ・連携体制の構築:本部・学校、本部役員と各担当委員会が直接連携し、風通しの良い組織づくりを進めています。
- ・費用の見直し:次年度からは、他校で徴収されていない PTA への入会金を徴収しない見込みです。
- ・情報共有の強化:研修大会への積極的な参加や、マチコミを通じた活動内容の発行により、情報共有を密にしています。

5. 具体的な活動成果

- ・本部:陸上競技大会などで冷たい飲料を提供し、熱中症対策を行いました。記念祭では昨年の合唱祭の上映ブースを運営し、保護者から好評をいただきました。合唱祭のトロフィー寄贈も行いました。
- ・学年委員会:進路説明会後の懇談会を開催し、QRコードによるアンケート導入で業務の効率化に成功しました。講演会も企画中です。
- ・環境委員会:ガーデニング活動(花壇整備)やボランティア活動(清掃)を通じて、校内外の環境づくりや活動後の茶話会を行いました。
- ・広報委員会:広報紙の電子化(紙媒体とマチコミ配信)に取り組んでいます。

6. まとめと今後の展望

今回の改編は困難を伴いましたが、多くの理解を得て、今までできなかった生徒サポートが実現できました。組織全体に「子どもたちのために何ができるか？」という共通認識が生まれたことが最大の成果であり、組織はポジティブな方向に変化しています。私たちはこの改編を通して多くの学びを得ました。今後も子どもたちのためのより良い PTA 活動を継続的に模索してまいります。